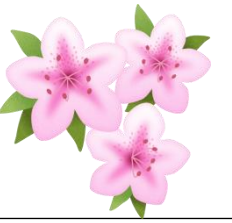


# ゆきの灯り

第16号  
平成30(2018)年  
4月発行  
油木協働支援センター  
TEL 82-0701  
FAX 82-2228



～移住者の体験を語る会を開催しました～

油木への移住を促進するために協議を重ねてきた田舎暮らし・移住促進事業専門部会。満を持して3月23日「移住者の体験を語る会」を開催しました。総勢21名の参加があり、和気あいあいと会が進みました。

3分で自己紹介カードを作成し和やかなムードが始まりました。今回のお題は「油木に住んだ理由」「住み続けている理由」「困っていること」でした。J・U・Uターンのグループに加えて、当日飛び入り参加された原住民の方と4グループに分かれてのワークショップでした。移住の理由は人それぞれですが、私個人の感想としてUターンの人は、タイミングや勢いで行動。(結婚を判断する時と似ている?) Uターンの人は、ロマンチスト。Uターンの人は使命感が強い。といった印象を受けました。「困っていること」は「J・U」は、予想通りの冬の寒さと道路の凍結。

原住民のグループからは、油木に住んでいて困っていることが無いといった回答がでて驚きました。原住民の方は生まれながらこの環境で育ち、移住者が不便に感じていることが当たり前に感じました。今後、この会を重ねていくうちに豊かに暮らす改善策がみえてくるのではないかと思います。時間が足りないうらい、油木あるある話はつきませんでした。今回、参加できなかった方も次回開催時はぜひ足をばこんでみてくださいね。

部会長 中武仁美



今回の会で出された意見や想いは部会だけでとどまらず、何らかの形で油木の住民の皆さんに共有したいと思っています。

久保祐子

協働支援センターの部会主催で開催された移住者のつどいですが、田舎に移住した人がどんなことに悩み困っているかを確認し今後に生かすというものでした。

実際に参加して感じたのはもともと住み続けている人とJ・U・Uターンの人との意識や考え方の違いです。もともと住み続けている人が「義務と使命」で定住しているのに対し、J・U・Uターンの人は「勢いとタイミング」で定住している・・・そんな印象を受けました。

移住者は冬の凍結を困っているのに、地元の方は当たり前で困ったこととして考えていないというのは興味深いことでした。

個人的には最初に考えていたものより随分面白い話になり、違う視点を発見できた良い機会でした。

部会員 赤木俊二

## 3月の専門部会

### 農村環境維持 向上事業専門部会



3月8日をもって当部会を終了しました。協議を続けていく中で油木の農村の問題点がはっきりしてきたように思います。

各自自治振興会が花いっぱい運動の助成を利用し、美しい景観作り活動をスムーズに行えるよう取り組んでいます。

## ふるさと交流会

若い大学生との交流で刺激をもらいました

観光協会主催の民泊モニターツアーで首都圏の学生が神石高原町を訪れました。民泊家庭での家業体験を終えて2日目、いちば自治振興会事務所にて油木住民(いちば再生事業部の皆さん)との交流会が行われました。大学生は今後、神石高原町と都会の若者をつなぐ活動を住民の皆さんと一緒に行っていきたいとのことでした。



いちば自治振興会事務所での交流会

## あいさつ運動

地域の子どもは地域で守る 青少年育成油木地区委員会では、平成29年度月1回、各学校等付近の街頭に立ち、挨拶運動を行いました。

中国バス停留所付近の様子



## 子ども文化交流会



油木地区 英語劇の子どもたち

## Enjoy English!

3月11日(日)に豊松陽光の里文化ホールにて、町内の児童を対象に「子ども文化交流会」を開催しました。和太鼓や舞踊、ヒップホップダンスなど盛りだくさんのイベントとなりました。油木地区からは英語劇グループが出演、短い練習期間でしたが、子ども達は英語をしっかりと暗記し堂々と演じました。ゆきキッズクラブでは来年度英語劇教室を開催し、英語をまるごと体で覚えていきます。

神石高原中学校 東日本大震災募金  
神石高原中学校 二年 田村 栞理

「東日本大震災義援金への協力ありがとうございました」

3月11日、豊松の陽光の里文化ホールにて東日本大震災で被災された方々への募金活動をさせていただきました。

地域の方々からのご理解を得て募金活動をすることができ、嬉しく思っています。

福島で被災された方々に何かしたいと思って始めた募金活動は、活動している自分たち自身の心も温まる体験でした。

募金いただいた八五、八四三円は、日本赤十字社へ寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。





平成30年度 ゆきなび

教室	回数	講師(敬称略)
料理教室	7回	大西智子
ちまき柏餅作り体験教室	1回	小田 緑
そば打ち体験教室	1回	藤井優晴
こんにゃく作り体験教室	1回	田邊政子
お茶教室	4回	小田 緑
英語劇教室	3回	久保祐子
平和学習	1回	久保祐輔
陶芸教室	2回	小川忠男
自然を楽しむ会	3回	赤木健二 永泉寺
楽描き教室	3回	若林佐都子
将棋教室	1回	延岡雅良
囲碁教室	1回	延岡雅良
工作教室	2回	松岡純夫
伝統文化等継承教室	3回	土居軍二
スカッシュ教室	3回	郡司孝一
パソコン教室	6回	小笠洋平
パン作り教室	3回	平田サエ子
茶道教室	4回	日谷智子
手芸倶楽部	4回	若林佐都子
外国料理教室 (ネパール料理)	1回	マヤ アチャリヤ
みそ作り教室	1回	中平道正

ゆきキッズクラブ

大人の教室



袱紗さばきを習うキッズ

お雛様を飾って雛茶会  
3月10日(土)にお茶教室をしました。  
今回はひな祭りにちなんで、床の間にお雛様や花を飾り、ひなまつりのオルゴールの鳴り響く中で雛茶会をしました。  
白酒の代わりに甘酒を飲んだ後、講師の小田緑さんと女性会油木支部の方に教わり、盆点前を習いました。

ゆきキッズクラブ報告

ゆきなび



講師の延岡さんと対局するキッズ

難しい囲碁に挑戦  
3月17日(土)に、今年度最後のゆきキッズクラブとなった囲碁教室をしました。  
最初に、石の置き方やマナーなど囲碁の基本がわかるDVDを見ました。その後講師の延岡雅良さんに教わりながら対局をしました。  
囲碁のルールはシンプルですが、奥が深く大変難しいゲームです。キッズたちも少しずつ面白さが分かってきたようでした。



手芸倶楽部



講師の若林さんと参加者

素敵な写真立てが  
できました  
3月6日(火)に講師に若林佐都子さんを迎えて、手芸倶楽部をしました。  
グラスアートという手法で、スタンドグラス風の写真立てを作りました。  
細かい作業で製作中は、無言でしたが、出来上がったものに写真や雑誌の切り抜きなどを入れると、感嘆の声がありがとうございました。

5月のゆきなび

- ゆきキッズクラブ 料理教室 5月12日(土)
  - 英語劇教室 5月19日(土)
  - 自然を楽しむ会 5月26日(土)
  - パソコン教室 5月11日(金) 25日(金)
  - パン作り教室 5月29日(火)
- 参加をお待ちしています



油木っ子 夢に向かって羽ばたけ!



3月22日(木)に油木小学校卒業証書授与式が行われました。  
13人の卒業生が6年間の学びへ別れを上げました。

油木小学校卒業式



国際色豊かな参加者の皆さん

スカッシュをはじめよう!

スカッシュ体験会

3月18日(日)にスカッシュ体験会を開催しました。  
今回もインストラクターの郡司孝一先生の指導を受けました。  
短時間の体験でも、かなりの運動量で、皆さん良い汗をかいていました。

かがやきネット「お知らせ」に協働支援センターの項目が追加されました

- ① かがやきネットTOP画面のお知らせを開きます
- ② 油木協働支援センターを選択
- ③ 行事・お知らせを見ることができます

● お知らせ内に4地区の協働支援センターの項目を追加



9月 稲刈り体験交流会  
田んぼに入り、手鎌で稲を刈り、ハデ干しにします。昼食ははんごう炊飯、そしてジビエ料理です。

8月 川遊び体験交流会  
川に入って笹船競争、魚とりなどの川遊び、そしてマスのつかみ取り、そのマスは串刺しにし炭火で塩焼きにして食べます。またそうめん流しは大好評です。

6月 鳥獣対策実験圃場にてさつま芋のツルを植え付け作業

5月 田植え体験交流会  
もち米の苗を素足で田んぼに入って、全員一列になり植えつけをします。昼食は地元産コシヒカリではんごう炊飯。それぞれ好きな具材を入れ、おにぎりを握って食べます。

4月 四季を通して多くの方々に参加していただいている体験交流・共同作業。皆さんと共に喜び、感動を共有して楽しく活動しています。

東油木自治振興会の紹介 その一

会長 内藤 栄



大好評のそうめん流し

10月 ゆきふるさとまつり  
育てたさつま芋を専用の芋焼き機を使い、石焼き芋に。そしてその芋を販売します。又、手作りこんにゃくの実演販売。  
11月 芋ほり体験交流会  
6月に植えたさつま芋を収穫体験し、芋料理のフルコースを作ります。  
毎月発行している広報「やまあい」を、東油木出身の方々や体験交流会に参加された方々にメールや郵便にて送っています。東油木の頑張っている姿と現状を発信しています。  
(次号は2月の行事から つづく)